

2017-18 INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT 2770
ROTARY CLUB OF IWATSUKI
since 1963



Weekly Report



クラブ・テーマ 「ロータリーを学び、実践し、楽しもう」

会長 三浦宣之
幹事 増岡昌行

例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日（月3回）
事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

三浦年度

第5回

通算2701例会

令和元年8月8日

会長挨拶

第57代会長 三浦宣之

皆さん今日は、本当に暑い日が続きます。夏バテには十分気を付けてください。という事で、本日の食事は夏バテに効果のあるうなぎにしました。本来ならうなぎでお出ししたいのですが予算の都合上、三分の一の量でございます。ご勘弁してください。もっとガツツリ食べたい人は鰻が2段になっている特上うなぎを召し上がって頂ければと思います。



この鰻も年々取れる量が少なくなってしまい、5年前には絶滅危惧種に指定されてしまいました。どこで卵を産むかご存じでしょうか？グアム島の近くのマリアナ海溝で卵を産みます。その稚魚が黒潮に乗って台湾・中国・日本にたどり着き、それを捕まえて池に入れ、ハウスで育て、約1年で食べられるように育てます。その稚魚しらすうなぎが年々取れなくなって値段が高くなっているということです。現在は99%が養殖です。

天然鰻は5~10年位かけて川、湖、沼とかで大きく育て、そして産卵するために川を下って海に出て、その間何も食べずにひたすら泳いでいきます。だから栄養があるようです。天然の鰻を扱っているところもあるらしいですが、それはもうやめた方がいいと自分は思っています。せっかく5~10年かけて自然の中で育て、「さあ、海に出て産卵するぞ」といった時にそれを捕まえて食べてしまうのはあまりに可哀そうだと思います。この前も釣り好きなおじさんから「川で取れた鰻を捌いてくれ」と言われたので、「勘弁してください」と、そして事情を説明して買い取らせてくれと言ったんですけどそのまま持ち帰ってしまいました。

完全養殖はできているが物凄くコストがかかるという事で商業ベースには持っていけないのが現状です。

さて、本日は地区部門セミナーの報告会という事で、担当の委員長宜しくお願いします。

幹事報告

幹事 増岡昌行

1. 8月ロータリーレート108円
2. 国際ロータリー日本事務局より定款・細則の翻訳の状況について2019年規定審議会の結果を反映したRI定款・細則及びクラブ定款・細則の日本語版について、米国本部に進捗状況を確認したところ、9月迄にマイロータリーにアップロードされる予定。
3. 岩槻まつり実行委員会から、2019人形の町岩槻まつり協



賛広告提供の御礼とパンフレット

5. 大宮西、大宮東から週報

委員会報告

第4グループガバナー補佐 小田光司

- ・8月9日(金)、栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部において第4G親睦ゴルフコンペを開催します。岩槻RCからは三浦会長、鈴木PAG、小田の3名で参加します。
- ・8月25日に大宮北東RCが児童養護施設いわつきにおいて花火大会を開催予定。花火代ご協力のお願いが来ております。



部門セミナー報告

主管：会長 幹事

管理運営部門

地区管理運営部門の役割としては、クラブの活性化の為に、クラブの円滑な運営の支援を主な目的としています。またRLIの運営、ロータリーの貴重な財産である学友の管理を行います。今年度のRI会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」が、地区の活動方針であり、ロータリーのビジョン、私たちロータリアンは、世界、社会地域、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

クラブ活性化委員会からはマイロータリーへの全クラブが全員100%登録を地区の目標にしております。現在ではマイロータリー無しではクラブ運営ができない状態になっております。また多くの情報がマイロータリーから得ることができます。ぜひ全員の登録をお願いします。

セミナーでは、クラブ戦略計画ならびにクラブ活性化について多くの時間を取って取りました。まずは、井原バスターガバナーからは「新戦略計画とロータリー」ということでご講演をいただき、そこではロータリーの戦略的優先事項と目的として、1. より大きなインパクトをもたらす、2. 参加者の基盤を広げる、3. 参加者の積極的なかわりを促す、4. 適応力を高める、と4つの優先項目をご提示いただき、クラブの課題の例などをお話いただきました。

最後の時間にはディスカッション形式により、クラブの活性化についてとクラブの戦略計画についてグループに分かれ議論いたしました。各々のクラブに様々な課題があることを認識できたのと、他クラブの会員の方々のご意見が聞けたことは非常に良かったところでございます。

◆次回の例会◆ 令和元年8月18日(日) 岩槻まつり例会

点鐘：16:00 会場：ふな又

公共イメージ部門・会員増強部門

●公共イメージ部門

小林ガバナーのエンドポリオに向けての熱い思いを形に変えて行動して行きたいと考えています。各クラブの取り組みや学友の活躍などを多くの人たちにアピールし、ポリオ撲滅の意義と理解を広めるための活動を行います。世界ポリオデーの10月24日には各クラブで一斉にイベントを開催いたします。このイベントは地域に変化をもたらす奉仕活動としてロータリーのイメージ向上を図り、さらに入会への関心を高める絶好のチャンスとして会員増強に結び付くクラブの行動力を高め強固な組織づくりに役立てることも目的としています。目的達成のため各クラブの活動をサポートし、提供品としてはタスキ、のぼり旗、ポリオの説明のパンフレット、ステッカー、イベント用ポスター、募金箱、PR用データ等になります。こちらを各クラブに配布いたします。

●会員増強維持部門

地区会員の目標達成、そして会員維持のために何をしなければならぬかを念頭にガバナー、地区委員会そして各クラブが丸となって同じ方向に進んで行きたいとかがえています。小林ガバナーはクラブと地区の未来の為に地区数値目標2770名、そして入会候補者情報を担当者が管理し会員の多様性、女性会員の増強、40歳未満の会員の増強に力を注いで頂きたいと考えています。会員の増強に特効薬は無いと言われておりますが、何もしない、何もできないでは一向に増えません。また数年間現状維持、又は減少傾向にあるクラブは危機感を持つ必要があります。会長幹事ははじめ会員増強委員長が常に増強を口にし、意識していかなければ純増はしません。そして増強した会員をクラブ、また紹介者やその周りのメンバーで歓迎し入会したばかりの方々を大切に大会防止にも努めてください。よく聞く1名増やしても1名退会では全く意味がありません。苦勞して増強したら同じくらい苦勞して退会防止に努めてください。そのためにはまず自分のクラブの目標、中長期の目標、そして1会員1名のリストアップ、訪問促進、必須としてクラブのパンフレットの作成、コンテストのノミネートなど丁寧に地道に進めていきたいと考えています。

青少年奉仕部門

インターアクトの主たる活動の一つに第3750地区(韓国)インターアクターとの交流があります。2月に韓国のインターアクター約50名が日本でホームステイをして、3月に日本のインターアクターが韓国でホームステイをします。その期間に両国インターアクターによるインターアクト協議会が開催されます。今年度は岩槻RCがスポンサーとなっている岩槻高校インターアクトクラブがホスト高校となっております。インターアクト協議会及び韓国訪日団歓迎会開催に向けスポンサークラブとして主催高校の岩槻高校インターアクトクラブを指導及び支援をするために実行委員会を立ち上げます。政治的には問題を抱えているところもありますが、小さな出会いが友情を育み相互理解に繋がるはずで、皆様のご理解とご協力をお願いします。

青少年交換プログラムは青少年に海外留学の機会を提供することにより、異文化の理解と友好・親善の懸け橋のひとつとなつてもらい、民間の青少年親善大使としての国際平和に資することを目的としています。今年度募集する派遣候補生は12名程度となっています。青少年交換事業では来日生のホストファミリーが見つからず受け入れを見送ってしまうクラブもあります。そこで今年度の青少年奉仕事業では例年課題となっております交換留学生の受け入れ先をホストクラブ以外のご家庭でも募集して受け入れ先問題の負担を軽減できるように活動しています。今年度からの企画なので今後課題等も出てくる

ことかとは思いますが、このような企画をすることも大事なことだと思います。

社会奉仕部門

社会奉仕部門セミナーでは、例年通りなのは、腎・アイバンクへの登録のお願いと、ペットボトルキャップの回収が有りました。岩槻クラブでは、ペットボトルキャップは2018年5月～2018年10月の時期では450Kgでポリオワクチン64.3本分、2018年11月～2019年4月の時期では150Kgで21.4本となっております。

今年度、少し変わった活動としては、点字名刺の推奨でした。こちらの事業は点字名刺の業者さんたちは、障害者が働いているため、点字名刺を作ることにより地域社会にも障害者に対しての意識も付くのと、点字名刺が多く作られることになると、障害者の仕事が増えて、障害者が仕事での喜びを感じるとともに、障害者の働く場所を多くできるという相互的なことにもつながるとの事でした。

セミナー最後には、地区部門委員長の大塚様よりご自分が石材業を行っており、その全国優良石材店会では、東北の震災で、墓石が倒れているのを組合で墓石の修復をボランティアで行っていたところ、昔に来た津波の位置を記した石材が有るのを知り、これなら自分たちでもできるということで、今回の津波の到達高さの地点に現在33個の『津波記憶石』と命じて石碑を立てているようで、そちらの動画を見せていただきました。非常に感動いたしました。会場では最後は大きな拍手、セミナーが終わりました。ユーチューブでこちらは配信しておりますので、皆さんもお時間があるとき拝見していただければと思います。



【津波記憶石】忘れてはいけないこと・・・
http://youtu.be/2kQn_bTqDuA

米山部門

基調講演といたしまして、岩邊事務局長からお話しがございました。その中で、中国人奨学生の話ができました。彼は中国で弁護士事務所を開いています。尖閣諸島問題で反日が吹き荒れている時、日本人が助けを求めてきたら助けよう、かくまおう、今までお世話になった日本人に対し自分がやらねば誰が助けるんだという使命感のもと、行動しました。徴用工問題でも誰もやりたがらなかった日本の企業の弁護も積極的に行いました。米山の事業を通して、沢山日本のファンを作り、母国と日本の懸け橋になって頂ければと思います。また、韓国とも微妙な関係ですが、先ずはこの様な事業を通じて、民間から草の根的に交流を深めていくことが大事になってくると思います。米山記念奨学というのは、単なるお金を与える事業ではなく人材を育成する大切な事業だという事を思いました。

スマイルBOXより

メンバー(50音順)

小田光司 菊地 廣 鈴木 隆
関根信行 増岡昌行 三浦宣之

🌸 たくさんのご芳志ありがとうございます 🌸

スマイル報告

本日のスマイル合計	8,000円
年間累計額	109,000円

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
27	7			25.93%